

2019年10月の行事予定表

1	火		16	水	休会
2	水	聖書の学びと祈り会	17	木	証し会
3	木	祈禱会	18	金	朝の祈り会
4	金	朝の祈り会	19	土	
5	土	特集(土肥努先生)	20	日	伝道礼拝式、各会の例会日
6	日	特集・礼拝式、修養会12:50-15	21	月	
7	月		22	火	
8	火	教団・プロジェクト委員会(牧師出張)	23	水	聖書の学びと祈り会
9	水	聖書の学びと祈り会	24	木	祈禱会
10	木	祈禱会	25	金	朝の祈り会
11	金	朝の祈り会	26	土	
12	土		27	日	礼拝式、各部会
13	日	礼拝式、奉仕の日	28	月	
14	月		29	火	
15	火		30	水	聖書の学びと祈り会
			31	木	祈禱会

10月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。

編集後記

- ◇ 休日に思い立って10年ぶりに岡山城へ。以前には無かった(気づかなかった?)歴史家によるビデオ解説が実に楽しく興味をそそられました。「知らなかった」ことの残念と「知ったこと」の豊かさを感じました。
- ◇ 10月5日(土)講演会と6日(日)の礼拝、そして午後の修養会にワクワクしています。「教会って何?」と聞かれたら、どう答えるでしょう。
- ◇ 教会での一日を、ドキュメンタリーのように撮影してHPで紹介したらわかりやすいのでしょうか。
- ◇ 教会は神様ご自身を知る豊かな場であることを体現できるといいですね。

教会月報 2019年10月

No.341

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

宣教の使命

「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」  
使徒言行録1章8節

秋の季節を迎えました。あの暑かった酷暑がうそのようで、朝夕はめっきりひんやりしてきました。風邪などにご注意下さい。

さて、キリスト教の信仰について述べてみたいと思います。最近ケーブルテレビのCS放送でイエス・キリストの生涯が放映されています。最新版で、新しい神学や歴史などの視点を考慮されたもので楽しみです。

ところで、イエス・キリストは何のために世に登場され、何を成そうとされたのでしょうか?

聖書は、旧約聖書の預言の成就として、神の独り子が人の姿を取られ、世に現れたと証言します。また、イエスの生涯の目的は、神のみ名が崇められることにありました。世はイエスを受け入れることなく最終的には十字架でローマ式の処刑を受けた事実は世界史にも記されています。イエスは敗北したのかといえば決してそうではなく、ご自身の死によって人々の罪を負われたのでした。そのことを贖い(あがない)と言います。そして、死からの復活と共に死の世界も支配され、昇天されたイエスに代わり聖霊の神の登場があります。冒頭の聖書にありますように、ペンテコステ(聖霊降臨日)において、信仰者たちの上に聖霊が降ると力を受けます。神の力を付与され、地の果てまで福音を伝え、イエス・キリストの証人となるように導かれ、世界の隅々にまでキリスト教は広まったのです。

信仰者は神の恵みを受けることも重要ですが、神の愛と魂の救済の福音を伝えることも重要な事でもあります。イエスの宣教命令は、すべての弟子(イエスを信じる人々)が喜んで担うものといえます。

牧師 永松 清

# 地区聖会



## 夏休みイギリス旅行報告

8/2(金)~10(土)

A.Y. 姉

### S.T. マーガレット教会

ウェストminster寺院にある、世界遺産でもあるS.T. マーガレット教会で礼拝を捧げることができました。教会員はもちろん、ツアーリストもたくさん参列していて、ちょうど8月第1主日であったので、聖餐にも与ることができました。何よりも2台のパイプオルガンの演奏には鳥肌が立ちました。聖歌隊のハーモニーもプロ並みの歌声でした。天井が高く、正面や側面はステンドグラスが施され、イギリス国教会の凄さを感じました。聖餐の時は受洗している人は順番に前に出て、膝をついて一列に座りました。順にパンとなる薄いクラッカーのようなものを配られました。その後、杯に入った赤ワインを順番に口に当ててもらい、口に液体が入った瞬間「赤ワインだ！」と驚きました。ものすごい聖霊のパワーを感じました。

### たまたま行ったスーパーで

一日観光して最後に夕食の買い物にたまたまそのスーパーに寄ったところ、介助者と一緒の白杖を持った青年が店から出て行くのを見えました。思わず追いかけて行きました。「近藤くん！」と声を掛けると、やはり近藤君でした。彼は2年前に盲学校中学部3年生の時に英語を教えた生徒でした。彼と出会ったのは偶然？いえ必然的だったのでしょうか。今の私に当時のことを思い出させて、これからも教育実践や研究を頑張るといふエールだったと思います。

NHK テレビ出演以来、挫折しそうなことがあり悶々としていました。生徒のことをまずは考え、これからの自分の未来のために、私の後ろ姿を見ている我が子のために奮起しないとイケないと思う今日この頃です。ローマの信徒への手紙12章より「心を新たにしてお自分を改めていただき、何が神の御心であるか、何がよいことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。わたしに与えられた恵みによって、あなたが一人一人に言います。自分を過大に評価してはなりません。むしろ、神が各自に分け与えてくださった信仰の度合いに応じて慎み深く評価すべきです。」「わたしたちは与えられた恵みによってそれぞれ異なった賜物を持っていますから、預言の賜物を受けていれば信仰に応じて預言し、奉仕の賜物を受けていれば奉仕に専念しなさい。また、教える人は教えるに、勤める人は勤めるに精を出しなさい。」私は「教える人」なので、それに精を出してまた初心に戻って頑張っていきたいです。

旅行の安全をお祈りして下さり感謝いたします。



9月22日の礼拝後、台風17号が近づくと状況で、一路、永松師と広島県呉市へ向かいました。諸事情で岡山からは3名の参加(永松師、F兄、Y兄)となりました。開催が危ぶまれる予報でしたが、途中の風雨はほとんど無く初日の会場であるクレイトンベイホテルに到着。他の教会(水島、広島、呉)からの参加者も多く、無事に行われることになりました。(57名の参加)

今回のメインテーマは『聖化の物語を生きる』で、講師は鹿児島教会の久保木聡師をお招きしました。3年越しのご登場となりましたが快く引き受けて頂きました。

一日目は『幼児のように神にゆだねる』(マタイ19:13-15)と題してのメッセージ。《使徒言行録では聖霊降臨が集団での体験として描かれており、一人だけ清められるのではない》《幼子のように神に全てを委ねる無垢さが信仰には必要であり、その姿勢が聖化には重要》《イエス様が足を洗って下さることを素直に喜ぶ信仰こそが幼子の姿勢であり、聖化につながる》とユーモアを交えつつ判りやすいメッセージを頂き、オカリナの演奏も披露し

て頂きました。  
二日目の朝は会場を呉教会に移して、青年・女性・壮年の各部会の会合。壮年会は総会を開催し会計報告や全国大会への取り組み、各教会の活動報告などが話されました。

その後、呉教会の聖歌隊によるハレルヤコーラス！続いて久保木師の二回目のメッセージ『私から世界への平和の福音』(マタイ5:9)として語られ、《自らの心が平和でなければ、人に平安を伝えることはできない。》《物欲にまみれ、感謝を忘れ、他人への不満に囚われていることが恐れや不安につながる》《そのような欠けたものである『素』の自分を受け止めてくださるのが神》と語られ、きよめに必要な信仰を教えてくださいました。この日もオカリナで賛美歌を演奏して頂きました。

3年間開催できなかった地区聖会ですが、素晴らしい時間を頂き感謝でした。次の開催は岡山教会担当です。祈りつつしっかりと準備しましょう！

(K.Y.)

僕は最初の日に自然史博物館に行きました。色々な昆虫の標本や恐竜、鳥類、人間の体などの骨が置いていました。一番きょうみを持ったのは、虫コーナーで大きなSocopeonの模型でした。海のコーナーでは、全長30メートルにもなるシロナガスクジラの模型を見ました。すごく大きくて感動しました。それでは問題。なぜ「シロナガスクジラ」という名前がついたのでしょうか。①海中で白ぼく見えるから。

②白くて長い体だから。③獲物を食べる時、白い唾液を出すから。→正解は①です。

三日目僕たちはバスツアーに参加して世界遺産のストーンヘンジに行きました。草原に巨大な石が重なっていました。すごかったです。

初めてイギリス旅行行って思ったことは、日本と比べて涼しくて人が優しくかったです。僕が地下鉄で覚えた英語を紹介します。「ネクスト イズ グロストレッド ディスイズ ザ トゥアップメン

スタン マインド ギャップ ビトゥリントゥルエンアンド プラットホーム」(温子姉注: The next is Gloucester Road. This is the District Line to Upminster. Mind the gap between the train and the platform. 「次はグロウスターロードです。この電車はディストリクト線のアップミンスター行きです。電車とホームの間が開いているところに注意してください) Y.Y. (小2)

Y.Y. (小2)